

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-024603

(43)Date of publication of application : 25.01.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 2000-203591

(71)Applicant : MIKKU:KK

(22)Date of filing : 05.07.2000

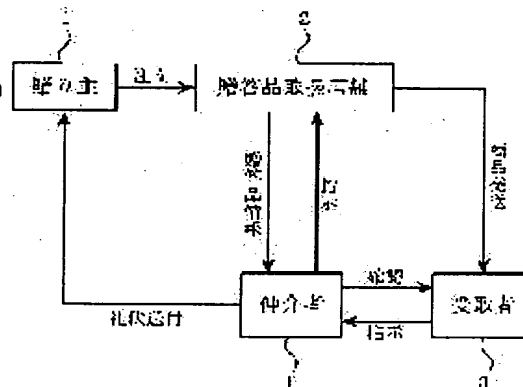
(72)Inventor : CHISAN MASASHI

(54) GIFT EXCHANGING SYSTEM ALLOWING CHANGE/TRANSFER OF GIFT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a gift exchanging system allowing confirmation of the contents of a gift before it is sent to a person designated as receiver and allowing change/transfer of the item on the receiver side.

SOLUTION: A gift handling shop 2 transmits information about the gift ordered by a sender 1 to a server operated by a mediator 4 on a communication network, while the mediator transmits the gift information to the receiver 3 from the server. The receiver determines whether he/she receives the gift, changes the gift, or transfers the gift to another place so as to transmit instruction information to the server. From the server to the gift handling shop, the mediator transmits a gift dispatch instruction if the instruction information is accepting one, transmits a gift change instruction if the instruction information is gift changing one, and transmits a gift transfer instruction if the instruction information is gift transferring one. The gift handling shop performs either of dispatch, change, or transfer of the gift according to the instruction from the mediator.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 05.07.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 03.12.2002

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-24603
(P2002-24603A)

(43) 公開日 平成14年1月25日 (2002.1.25)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード (参考)
G 0 6 F 17/60	3 1 4	G 0 6 F 17/60	3 1 4 5 B 0 4 9
	1 5 4		1 5 4
	3 0 2		3 0 2 A

審査請求 有 請求項の数10 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2000-203591(P2000-203591)

(22) 出願日 平成12年7月5日 (2000.7.5)

(71) 出願人 500320523

株式会社ミック

岡山県岡山市表町1丁目2番3号

(72) 発明者 治山 正史

岡山県岡山市表町1丁目2番3号 株式会
社ミック内

(74) 代理人 100085785

弁理士 石原 昌典 (外1名)

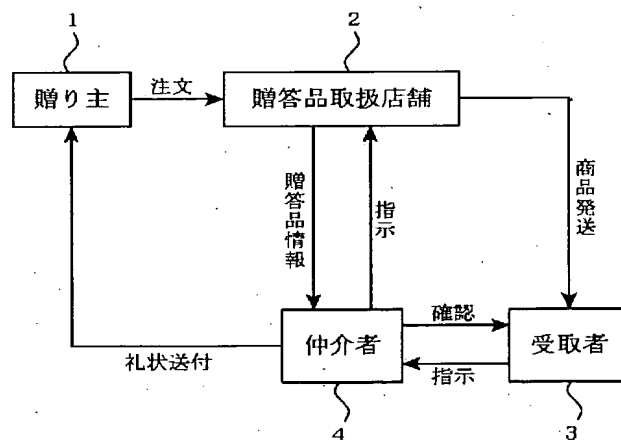
Fターム (参考) 5B049 AA02 AA06 GG00

(54) 【発明の名称】 贈答品の変更・転送が可能な贈答システム

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 受取者として指定された本人に贈答品が送られてくる前にその内容を確認でき、受取者側で贈答品の品目変更又は転送等が可能な贈答システムを提供する。

【解決手段】 贈答品取扱店舗2は通信ネットワーク上の仲介者4の運営するサーバへ贈り主1により注文された贈答品の情報を送信し、仲介者は受取者3へ前記贈答品情報を前記サーバから送信する。受取者は前記贈答品を受け取るか、品目を変更するか、又は前記贈答品を他の場所へ転送するかを決定し、指示情報を前記サーバへ送信する。仲介者は前記指示情報が、承認情報であれば前記贈答品の発送指示を、贈答品変更情報であれば前記贈答品の変更指示を、又は転送情報であれば前記贈答品の転送指示を前記贈答品取扱店舗へ前記サーバから送信し、前記贈答品取扱店舗は前記仲介者からの指示に基づき、前記贈答品の発送、前記贈答品の変更、又は前記贈答品の転送の何れかを行う。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 贈り主からの贈答品の注文に基づき、該贈答品が受取者に配送される贈答システムにおいて、贈答品取扱店舗は、通信ネットワーク上の仲介者の運営するサーバへ前記贈り主により注文された前記贈答品の情報を送信し、

前記仲介者は、前記受取者へ前記贈答品取扱店舗からの前記贈答品情報を前記サーバから送信し、

前記受取者は、前記贈答品情報を確認し、前記贈答品を受け取るか、前記贈答品の品目を変更するか、又は前記贈答品を他の場所へ転送するかを決定し、該決定に対応する承認情報、贈答品変更情報、又は転送情報の少なくとも何れか 1 つを含む指示情報を前記サーバへ送信し、前記仲介者は、前記指示情報が、承認情報であれば前記贈答品の発送指示を前記贈答品取扱店舗へ前記サーバから送信し、贈答品変更情報であれば前記贈答品の変更指示を前記贈答品取扱店舗へ前記サーバから送信し、又は転送情報であれば前記贈答品の転送指示を前記贈答品取扱店舗へ前記サーバから送信し、前記贈答品取扱店舗は、前記仲介者からの指示に基づき、前記贈答品の発送、前記贈答品の変更、又は前記贈答品の転送の何れかを行う、ことを特徴とする贈答システム。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の贈答システムであって、前記贈答品取扱店舗が通信ネットワーク上の仮想店舗であることを特徴とする贈答システム。

【請求項 3】 請求項 1 又は請求項 2 に記載の贈答システムであって、前記贈答品情報には前記受取者の電子メールアドレスが含まれ、前記贈答品情報、前記指示情報は、前記通信ネットワークを介して電子メールで送受信されることを特徴とする贈答システム。

【請求項 4】 請求項 1 又は請求項 2 に記載の贈答システムであって、前記指示情報は前記サーバ上で稼動するホームページを介して送受信されることを特徴とする贈答システム。

【請求項 5】 請求項 1 乃至請求項 4 の何れかに記載の贈答システムであって、前記指示情報が贈答品変更情報であれば、前記贈答品に代えて贈答品の金額に対応する商品券を前記贈答品取扱店舗が発行することを特徴とする贈答システム。

【請求項 6】 請求項 1 乃至請求項 5 の何れかに記載の贈答システムであって、前記贈答品取扱店舗は、更に、前記受取者が会員登録されているか否かを判別し、会員登録されていれば前記贈り主により注文された前記贈答品の情報を仲介者の運営するサーバへ送信し、会員登録されていなければ前記贈答品を前記受取者へ発送することを特徴とする贈答システム。

【請求項 7】 請求項 1 乃至請求項 5 の何れかに記載の贈答システムであって、前記仲介者は、更に、前記受取者が会員登録されているか否かを判別し、会員登録され

ていれば前記贈答品取扱店舗からの前記贈答品情報を前記受取者へ送信し、会員登録されていなければ前記贈答品取扱店舗に前記贈答品の発送指示を送信することを特徴とする贈答システム。

【請求項 8】 請求項 6 又は請求項 7 に記載の贈答システムであって、前記指示情報が贈答品変更情報であれば、前記贈答品に代えて贈答品の金額に対応するポイントを前記サーバに蓄積し、登録会員である前記受取者は、前記蓄積されたポイントを使用して前記贈答品取扱店舗で任意の商品を注文することを特徴とする贈答システム。

【請求項 9】 請求項 8 に記載の贈答システムであって、前記受取者は、前記サーバ上で稼動するホームページにアクセスすることで、前記蓄積されたポイントを確認することができることを特徴とする贈答システム。

【請求項 10】 請求項 1 乃至請求項 9 の何れかに記載の贈答システムであって、更に、前記仲介者は、前記受取者に代わって贈答品に対する礼状を前記贈り主へ発送することを特徴とする贈答システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は、中元や歳暮等の時期に、依頼者からの指示に基づき受取者へ贈答品が配送される贈答システムに関し、特に、依頼者の依頼内容とは無関係に受取者側で贈答品の品目変更・転送等が可能な贈答システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 一般に、中元や歳暮の時期に、ギフトセット等の贈答品を百貨店などから直接受取者に送ることが長年の慣行として行われている。通常、贈り主は、贈答品を扱っている店、例えば百貨店等で贈答品を選び、送り先を指定して注文する。そして、注文に基づき百貨店は贈答品を受取者へ発送する。近來では、インターネットの普及により、百貨店等の店舗に直接出向かなくても、オンラインで注文することも可能となっている。一方、贈答品を受け取る側では、送られてきた贈答品が必要であろうが不要であろうが関係なく、受け取っていた。また、受取者は、贈答品を受け取ると、そのお返しや礼状等を送るのが普通である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、贈答品を受け取る者にとって、その贈答品が必ずしも必要な商品でないこともあり、そのような不要な贈答品が送られてきた場合には、その処理に困ることがあった。不要な贈答品は、他の者、例えば近所の者や親戚で必要としている者に譲ったりすることもあった。また、特に賞味期限があるようなもの等の場合、保存しておくわけにもいかず、そのまま腐らせてしまうこともあり、無駄になる贈答品が多かった。

【0004】 本発明は、斯かる実情に鑑み、不要な贈答

品が送られてくる前に、受取者が贈答品の品目の確認を行え、通常の受け取りに加えて、必要により受取者が望む贈答品への品目変更又は受取者以外の他の者への転送が可能な贈答システムを提供しようとするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】上述した本発明の目的を達成するために、本発明による贈答品の変更・転送が可能な贈答システムにおいて、贈答品取扱店舗は、通信ネットワーク上の仲介者の運営するサーバへ前記贈り主により注文された前記贈答品の情報を送信し、前記仲介者は、前記受取者へ前記贈答品取扱店舗からの前記贈答品情報を前記サーバから送信し、前記受取者は、前記贈答品情報を確認し、前記贈答品を受け取るか、前記贈答品の品目を変更するか、又は前記贈答品を他の場所へ転送するかを決定し、該決定に対応する承認情報、贈答品変更情報、又は転送情報の少なくとも何れか1つを含む指示情報を前記サーバへ送信し、前記仲介者は、前記指示情報が、承認情報であれば前記贈答品の発送指示を前記贈答品取扱店舗へ前記サーバから送信し、贈答品変更情報であれば前記贈答品の変更指示を前記贈答品取扱店舗へ前記サーバから送信し、又は転送情報であれば前記贈答品の転送指示を前記贈答品取扱店舗へ前記サーバから送信し、前記贈答品取扱店舗は、前記仲介者からの指示に基づき、前記贈答品の発送、前記贈答品の変更、又は前記贈答品の転送の何れかを行う。

【0006】贈答品取扱店舗は、実際の店舗であることに加えて、通信ネットワーク上の仮想店舗であっても良い。

【0007】贈答品情報には前記受取者の電子メールアドレスが含まれ、前記贈答品情報、前記指示情報は、前記通信ネットワークを介して電子メールで送受信される。

【0008】指示情報は前記サーバ上で稼動するホームページを介して送受信されても良い。

【0009】指示情報が贈答品変更情報であれば、前記贈答品に代えて贈答品の金額に相応する商品券、又は手数料相当額等を差し引いた額の商品券を前記贈答品取扱店舗が発行することも可能である。

【0010】贈答品取扱店舗が、更に、前記受取者が会員登録されているか否かを判別し、会員登録されていれば前記贈り主により注文された前記贈答品の情報を仲介者の運営するサーバへ送信し、会員登録されていなければ前記贈答品を前記受取者へ発送する。

【0011】仲介者が、前記受取者が会員登録されているか否かを判別し、会員登録されていれば前記贈答品取扱店舗からの前記贈答品情報を前記受取者へ送信し、会員登録されていなければ前記贈答品取扱店舗が前記贈答品を発送することも可能である。

【0012】指示情報が贈答品変更情報であれば、前記贈答品に代えて贈答品の金額に対応するポイントを前記

サーバに蓄積し、登録会員である前記受取者は、前記蓄積されたポイントを使用して前記贈答品取扱店舗で任意の商品を注文することも可能である。

【0013】受取者は、前記サーバ上で稼動するホームページにアクセスすることで、前記蓄積されたポイントを確認することもできる。

【0014】更に、前記仲介者は、前記受取者に代わって贈答品に対する礼状を前記贈り主へ発送することもできる。

10 【0015】上記手段によれば、必要な贈答品のみを受け取ることが可能となるので受取側における贈答品の無駄が無くなる。また、受取者本人ではなく、親戚等に転送を指示することにより無駄を無くすることも可能となる。もちろん、これを他の者への贈答品とすることも可能である。更に、他の商品に交換することや商品券にする、又はポイントを蓄積しそのポイントを利用して新たな商品を購入、或いは他の者に別の贈答品を贈ることも可能となる。また、多数の贈答品を受け取る企業等にとっては手間のかかる礼状等も自動的に送付することが可能となるので、企業等での事務手続も簡略化できる。

【0016】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図示例と共に説明する。図1は、本発明の贈答システムの概略を示すブロック図である。贈り主1が贈答品取扱店舗2、例えば百貨店で贈答品、例えば歳暮ギフトを注文し、配送されてくる歳暮ギフトを受取者3が受け取るのが通常の贈答システムの流れである。本発明は、百貨店2と受取者3との間に、仲介を行う仲介者4を設けたところに特徴がある。仲介者4は、百貨店2から受取者3への商品発送前に、受取者3に対して贈答品の確認依頼を行う。以下、図2を用いてより具体的に説明する。

30

【0017】図2は、本発明の第1実施例の贈答システムの流れを説明するためのフローチャートである。まず、贈り主1が百貨店2で歳暮ギフトを注文する（ステップ201）。なお、百貨店2は、実際の店舗であっても良いし、通信ネットワーク、例えばインターネット上の仮想店舗であっても良い。次に、百貨店2は、仲介者4へ贈答品情報を送信する（ステップ202）。贈答品情報には、例えば商品名、金額、受取者氏名、受取者住所等が含まれる。なお、即時性の観点から、百貨店2と仲介者4とは、通信ネットワークで接続されており、贈答品情報は電子メールで仲介者4へ送信されることが望ましい。また、以下の受取者への確認のために、贈答品情報には、受取者電子メールアドレスが含まれることが望ましい。贈答品情報を受信した仲介者4は、受取者3へ送られる歳暮ギフトが必要なものか否かを確認する

40

（ステップ203）。確認には、電子メールを用いるのが最も好ましい。確認依頼を受けた受取者3は、その歳暮ギフトを受け取るか、他の品物に変更するか、又は他の者に転送するかを決定し、仲介者4へ指示をする（ス

50

ステップ 204)。その際、品目を変えて他の者に転送することも勿論可能である。この仲介者 4 への指示は、電子メールを用いることも勿論可能であるが、仲介者 4 が運営するサーバ上で稼動するホームページに設けられた所定の指示フォームを用いてインターネット等の通信ネットワークを介してアクセスすることで行うのが最も好ましい。贈答品を他の品物に変更する場合、商品券に代えることも勿論可能である。受取者 3 からの指示に基づき、仲介者 4 は、百貨店 2 へ、発送指示（ステップ 205）、変更指示（ステップ 206）、又は転送指示（ステップ 207）の何れかを行う。この指示は、電子メールを用いて行うことが好ましい。この仲介者 4 の指示に基づき、百貨店 2 は、受取者 3 へ、商品発送（ステップ 208）、商品を変更して発送（ステップ 209）、商品を他の者へ転送（ステップ 210）の何れかを行う。

【0018】このような構成により、受取者は、不要な贈答品であっても、贈答品が発送される前に他の必要な商品に変更したり、又は他の者、例えば近所の者や親戚で必要としている者に転送したり、或いは他の贈答したい者へそのまま又は品目を変えて転送することが可能となる。また、商品券に変更することも勿論可能である。従って、このシステムによれば不要なものを受け取ることが無くなる。また、受取者からの指示があるまでは商品の発送は行われないため、配達費用等の無駄もない。更に、仲介者が百貨店への指示を送信後、仲介者が受取者に代わって贈り主への礼状を発送することで、受取者の手間を省くことも可能である。なお、この礼状は、贈答品を変更したり転送したりしても、贈り主から贈られた贈答品を受けた場合の礼状とすることが望ましい。

【0019】次に、図 3 に、本発明の第 2 実施例の贈答システムの流れを説明するためのフローチャートを示す。基本的な構成は上述の第 1 実施例と同様であるが、本実施例は、受取者を事前に会員登録しておき、贈答品が不要な場合にポイントとして蓄積する贈答システムである。第 1 実施例の贈答システムの場合、受取者が望まれないに関わらず、仲介者から贈答品の確認を受取者に行っていたが、本実施例では、事前に会員登録しておくことにより、贈答品の確認を望む者に対してのみ贈答品の確認を行うようにしたものである。まず、本発明による贈答システムの会員を募集し、事前に会員登録しておく。会員登録データベースは、百貨店 2 に設けられても良いが、仲介者 4 の運営するサーバ内に設けられることが望ましい。仲介者 4 の会員とすることにより、複数の百貨店の一括管理が可能となる。そして、贈り主 1 が百貨店 2 で歳暮ギフトを注文する（ステップ 201）。なお、百貨店 2 は、実際の店舗であっても良いし、通信ネットワーク、例えばインターネット上の仮想店舗であっても良い。ここで、受取者となっている者が会員登録されているか否かを判別する（ステップ 301）。この判別は、会員登録データベース内を検索して確認する。

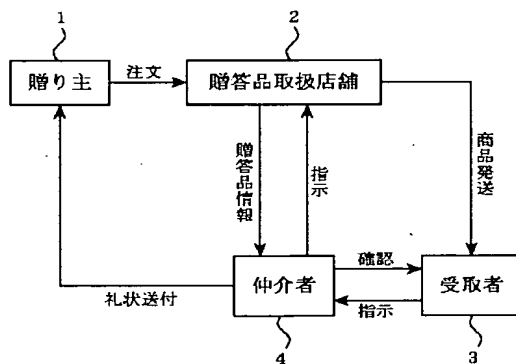
ここで、贈り主 1 の指定した受取者 3 が非会員であった場合は、百貨店 2 は、注文された贈答品をそのまま受取者 3 へ発送する（ステップ 208）。受取者 3 が会員登録されている場合は、百貨店 2 は、仲介者 4 へ贈答品情報を送信する（ステップ 202）。贈答品情報には、例えば商品名、金額、受取者氏名、受取者住所等が含まれる。なお、即時性の観点から、百貨店 2 と仲介者 4 とは、通信ネットワークで接続されており、贈答品情報は電子メールで仲介者 4 へ送信されることが望ましい。贈答品情報を受信した仲介者 4 は、受取者 3 へ贈られた歳暮ギフトが必要か否か確認する（ステップ 203）。確認には、電子メールを用いるのが最も好ましい。なお、受取者 3 の電子メールアドレスは、会員登録時に事前に登録しておく。確認依頼を受けた受取者 3 は、その歳暮ギフトを受け取るか、他の品物に変更するか、又は他の者に転送するかを決定し、仲介者 4 へ指示をする（ステップ 204）。この仲介者 4 への指示は、電子メールを用いることも勿論可能であるが、仲介者 4 が運営するサーバ上で稼動するホームページに設けられた所定の指示フォームを用いてインターネット等の通信ネットワークを介してアクセスすることで行うのが最も好ましい。贈答品を他の品物に変更する場合、贈答品の金額に対応する商品券に代えることも勿論可能であるが、会員制としているため、贈答品の金額に対応するポイントを仲介者 4 の運営するサーバのデータベース内に蓄積しておくことも可能となる（ステップ 302）。なお、商品券やポイントに代える場合には、仲介者 4 は、贈答品の金額から所定の手数料相当額を徴収し、該手数料相当額を差し引いた額の商品券又はポイントとすることが可能である。そして、受取者 3 からの指示に基づき、仲介者 4 は、百貨店 2 へ、発送指示（ステップ 205）、変更指示（ステップ 206）、又は転送指示（ステップ 207）の何れかを行う。この指示は電子メールを用いて行うことができる。この仲介者 4 の指示に基づき、百貨店 2 は、受取者 3 へ、商品発送（ステップ 208）、商品を変更して発送（ステップ 209）、商品を他の者へ転送（ステップ 210）の何れかを行う。

【0020】このような構成により、受取者は、不要な贈答品であっても贈答品が発送される前に、他の必要な商品に変更したり、又は他の者、例えば近所の者や親戚で必要としている者に転送したり、或いは他の贈答したい者へ転送することが可能となる。また、商品券に変更することも勿論可能である。従って、このシステムによれば、不要なものを受け取ることが無くなる。また、受取者からの指示があるまでは商品の発送は行われないため、配達費用等の無駄もない。更に、仲介者が百貨店への指示を送信後、仲介者が受取者に代わって贈り主への礼状を発送することで、受取者の手間を省くことも可能である。なお、この礼状は、贈答品を変更したり、転送したり、或いは商品券又はポイントに変更したりして

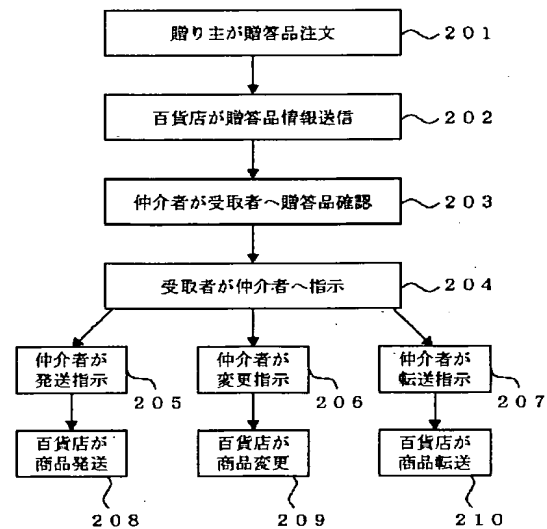
も、贈り主から贈られた贈答品を受けた場合の礼状とすることが望ましい。更に、第2実施例では、会員制とすることで、贈答品の確認を望む者に対してのみ贈答品の確認を行うようにしたので、受取者側への説明や不要なトラブルも回避できるようになる。また、会員制としたので贈答品の金額に対応するポイントを蓄積することも可能となる。非会員制だと管理上の問題があるが、会員制とすることでポイント管理も容易となる。そして、受取者は、ポイントを貯めることでより高価な贈答品に変更することも可能となる。なお、仲介者から受取者3への受け取り確認を行うときに、現在のポイント、及び今回のポイント等の情報も同時に送ることも可能である。また、仲介者4は、会員向けに通信ネットワーク上のサーバで稼動するホームページを設けておき、そこに受取者3が好きな時間にアクセスすることで受取者3に対して蓄積されたポイントを確認することも可能である。この場合、会員番号及びパスワードを事前に発行しておき、これらを所定の場所に入力することで第3者からの不正アクセスを防止することが望ましい。

【0021】なお、本発明の贈答品の変更・転送が可能な贈答システムは、上述の図示例にのみ限定されるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲内において種々変更を加え得ることは勿論である。例えば、本発明は

【図1】



【図2】



贈答品取扱店舗と仲介者を分けて説明したが、これは贈答品取扱店舗自身が仲介を行っても勿論構わない。

【0022】

【発明の効果】以上、説明したように本発明の贈答品の変更・転送が可能な贈答システムによれば、実際に贈答品が送られてくる前に、その贈答品の品目名、贈り主等が分かり、もしその贈答品が不要なものである場合には、受取者は贈答品の変更又は転送が可能であるので、不要な贈答品を持て余して無駄にすることなく、必要な商品、又はポイントに代えることができるという優れた効果を奏し得る。

【図面の簡単な説明】

【図1】図1は、本発明の贈答システムの概略を示すブロック図である。

【図2】図2は、本発明の第1実施例の贈答システムの流れを説明するためのフローチャートである。

【図3】図3は、本発明の第2実施例の贈答システムの流れを説明するためのフローチャートである。

【符号の説明】

- 1 贈り主
- 2 百貨店
- 3 受取者
- 4 仲介者

【図 3】

